

ヤリノ會員ノ多數ハ土木工師ナレモ別派ノ學者工師ニシテ會員タルモノ頗ル多ク假令ハ機械學者ニアームストロング伯理學者ニ獨ル故クローシヤス及英ノサーウイェルリヤムトムソン鑛山學者ニ故パーシー博士ノ如キ凡ソ工學ノ何科タルヲ問ハス有名ノ工師學士ニシテ此名譽員或ハ會員タル者最モ多シ同會ニテ年々發兌スル會誌ニハ土木機械鑛山電氣等諸般ノ學科ニ付實業上最モ必要ノ論說報告ヲ編輯シアリテ工師必讀ノ良書ナリ本年三月ノ年報ヲ見ルニ各種ノ會員合計四千七百三十九人内名譽會員十九人正員一千六百五十七人通常會員貳千六百十三人准員四百五十人此外ニ學生ト稱スルモノ九百八十九人又昨冬半期ニ於テ集會ノ數二十五度演說拾四種ナリ又會計報告ヲ見ルニ前年度ノ會費及雜收入ハ合計金拾五萬二千三百四十八圓支出ハ金拾貳萬七千五百八十貳圓ニシテ差引積立金貳萬四千七百六十六圓而テ同會ノ總積立金ハ六十八萬六千三百〇一圓ナリ會堂ハロンドン市ウエストミニスタールニ在リ書房建物頗ル廣大ニシテ實ニ富有ノ學會ナリ

○築堤破壞ノ損害

先頃米國ペンシルハニヤ州シヨンスターウン町ノ近郷サウスフォーク

ニ在ル用水溜池ノ築堤土砂築造破壞シ是カ爲メ溺死或ハ壓死セシ者凡ソ壹萬五千人鐵道橋梁家屋其外地方人民ノ損害ハ政府特派委員ノ調査ニヨレハ金六百萬弗ナリト云フ

○フォース橋開通紀念博覽會

蘇國エヂンバラ市ノ西方八哩ニフォース江アリ此南畔ニア

ル古町ヲグヒインスフヘリト云フ其東端ヨリ江ノ對岸ニ新架中ノ橋即チフォース橋ナリ是ハ鐵道復線ヲ渡ス者ニ全長凡ソ一哩五十鎮中央ニ三個ノ大橋脚ヲ建テ其間各千七百十呎鐵道面ノ水面ヲ拔ク七百六十七呎橋脚ノ頂點ノ高サ三百六十餘呎世界中古今無比ノ大鋼鐵橋ニシ

テ目今歐米中最モ評判ノ大工事ナリ本年中ニハ落成開通スルヲ以テ地方人民ハ大ニ其便利ヲ悦ヒ紀念ノ爲メ來春早々エチンバラ市ニ理工學術獎勵大博覽會ヲ開設セント該市屈指ノ紳士ハ委員ヲ撰テ是ヲ名譽市長ヘ申談セシ處市長ハ大ニ之ヲ贊成シ臨時參事會ヲ開キ之ヲ議スベキニ付委員諸氏モ出席シテ意見ヲ申述フベキ様懇答シタルニ由リ市民大ニ悦ヒ居ル由委員中ニハ有名ナル同市大學校博士 P. G. Yait Gunn Brown. Armstrong 等ノ博學者モ加リ居ルト云フヨリス橋工師長 Str. G. Fowler B. Baker 兩氏ノ名譽ト云フヤ

○チリ政府益々鐵道ヲ延長ス  
チリ政府ハ尙ホ八百七十五哩ノ鐵道ヲ布設セント白耳義國ヨリ土木工師六名ヲ招聘シ内シヤーマンヴアニヨリリーゴウ三氏ハ既ニサンチャゴニ向テ本國ヲ發セリ此等ノ工師ハボノスエールス及ウアルパレiw間ニ在ルアランダ山ヲ切通シトシテ開キ鐵道布設ノ設計測量ニモ參與スル約定ノ由

○北米合衆國產出銅ノ統計  
昨明治廿一年中北米合衆國中ニ於テ產出セシ銅ノ高ハ二億三千百二十七万〇六百二十二斤ニシテ平均壹斤ノ代價ハ拾四錢五厘九毛ノ割合ニテ總代價ハ三千三百八十三万三千九百五十四弗ナリト尤モ右ノ内ニハ他國ヨリ輸入シタル鑛石ヨリ製出セシ者モ込メアリ

○有名ナル英國冶金學士ドクトルパーシー氏死ス  
學者社會ニ誰レ知ラヌモノナキ有名ナルジョンパーシー博士ニハ本年六月十九日ロンドン府ベースオータ街ノ自宅ニ於テ逝去セラル氏ハ千八百十七年ノッチンガム市ニ生レ代言人パーシー某ノ子ナリ幼ニシテエチンバラ大學ニ入り二十一歳ニシテ M.D 醫學博士ノ學位ヲ受ケ間モナクパリス府ニ遊學ス歸國後